

進捗せる兩國線建設工事

鐵道省東京第一改良事務所長

平井喜久松

本工事は所謂失業救済のスピード工事で、兩國お茶の水間延長2杆4.9を、六區に分ち去昭和六年四月、六百五十萬圓の工費豫算を以て起工したものである。

第一工區は兩國驛に接する部分で鐵筋混凝土高架線の延長377米 總工費618,000圓で錢高組の請負である。本區間は基礎地盤の最も不良な處で、米松杭長10.6米のもの二本繼ぎを打ち込んだ。

第二工區は延長177.7米で、全區間隅田川横斷の橋梁となつてゐる。總工費140,000圓で清水組の請負である。橋臺及橋脚工事を既に完了、目下は鐵桁架設の準備として、ステーシング建設中である。

第三工區は延長80.77米の高架橋で 全部鐵筋混凝土より成り、總工費877,000圓で間組の請負である。本區間の基礎は長12米の鐵筋混凝土杭を打ち込んだ。此杭は384耗 未口330耗のものをを使用した。本區間の混凝土施工量は9,900立方メートルである。

第四工區は延長455.2米の高架橋で、全部鐵筋混凝土より成り、總工費525,000圓で西本組の請負である。

本工區の特色は混凝土の施工量9,200立米に及び、短期間に施工の完全を期する爲、世界に於て初めて

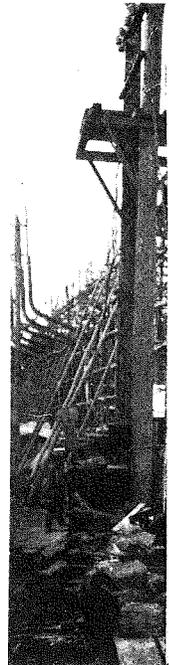
のウォーセクリーターを設備した點である。而して混凝土の合理的配合機

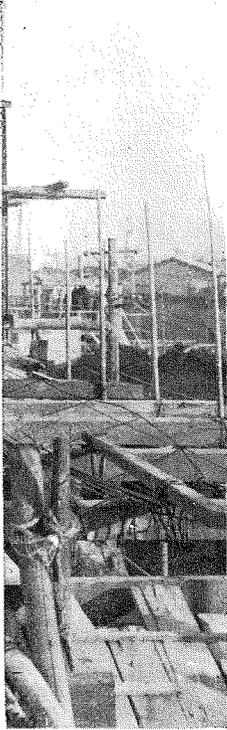
として頗る良好なる成績を挙げつゝある事は注意すべきである。

第五工區は秋葉原驛を含む三階停車場附近で、高架線の高さ地上16米、總延長347.2米に過ぎないが、鐵骨2,472噸を使用し、鐵筋混凝土8,770立方メートルを要し、總工費實に2,958,000圓に達し、他の四工區を合計する以上の工事量で 錢高組の請負である。

本工區は基礎地盤頗る良好で地下4米で土丹盤に達した處もあるが、山手及京濱電車線秋葉原貨物線等をオーヴァする爲には、又特別の苦心と施工法が必要とされる。

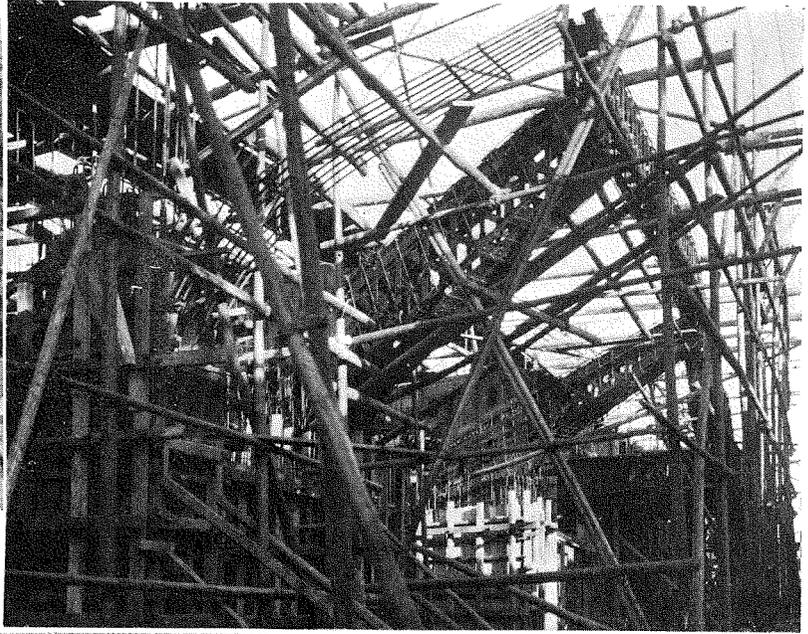
(1) 兩國線三工區新驛(淺草驛)上家の骨組、裏口よりの遠望。

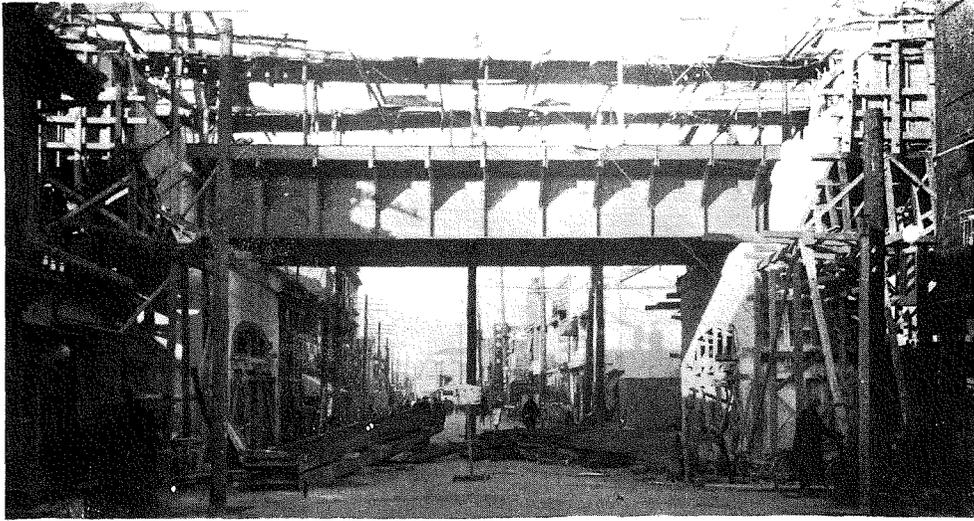




(2) 兩國線三工區新驛表口階段受突
桁

(3) 兩國線三工區新驛裏口附近鐵骨
組立狀況。

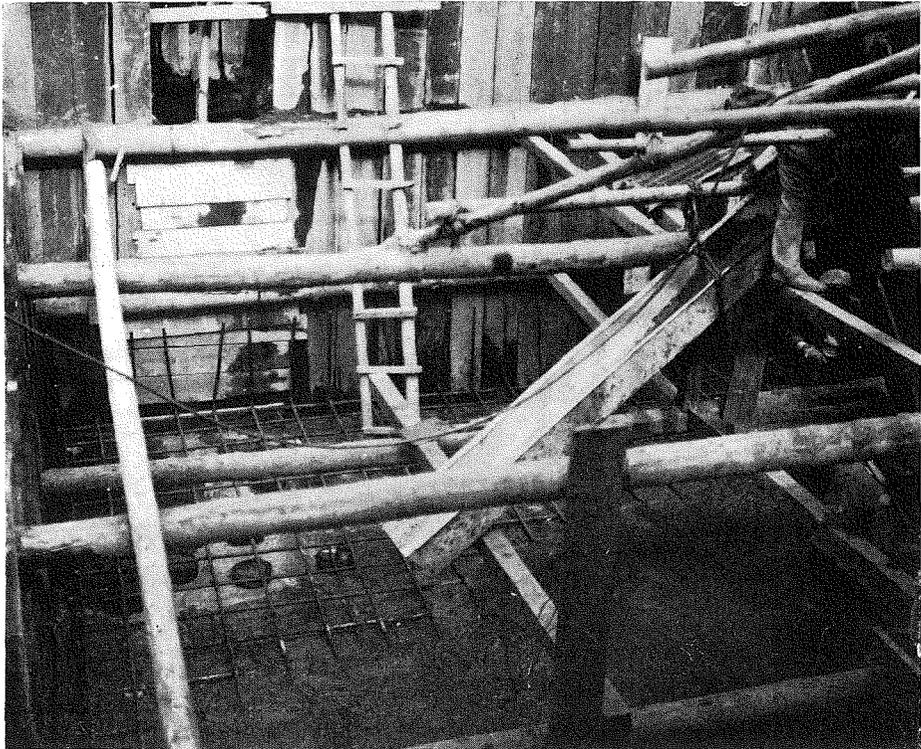
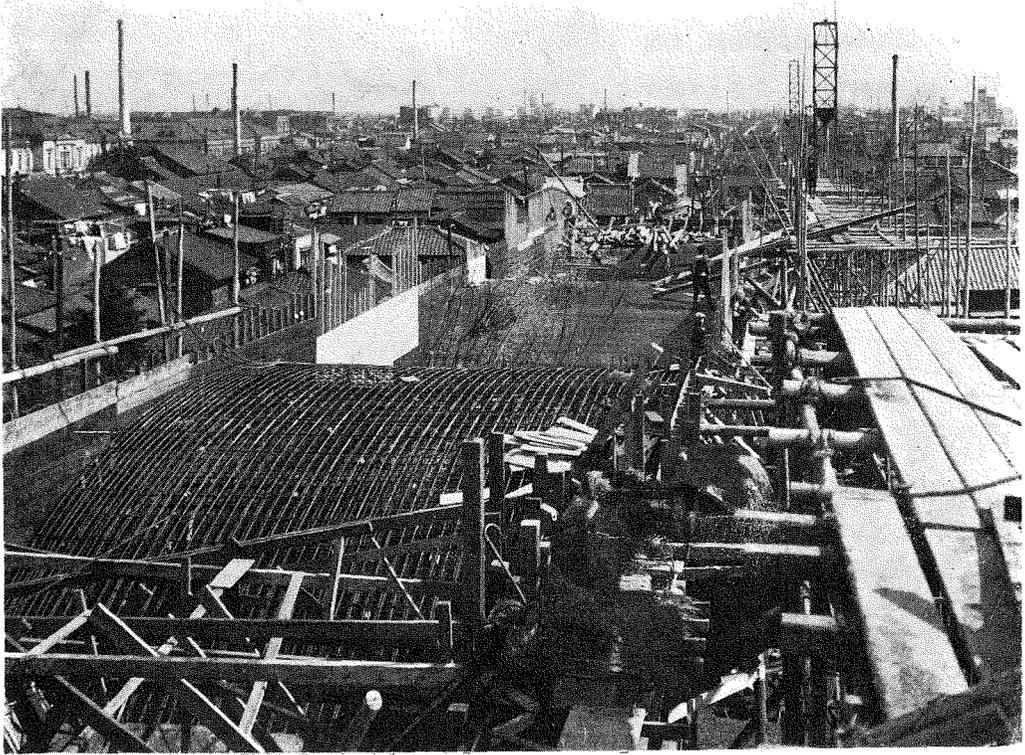




(4) 兩國線三工區第一福井橋(鋼鈹桁)徑間11.66米



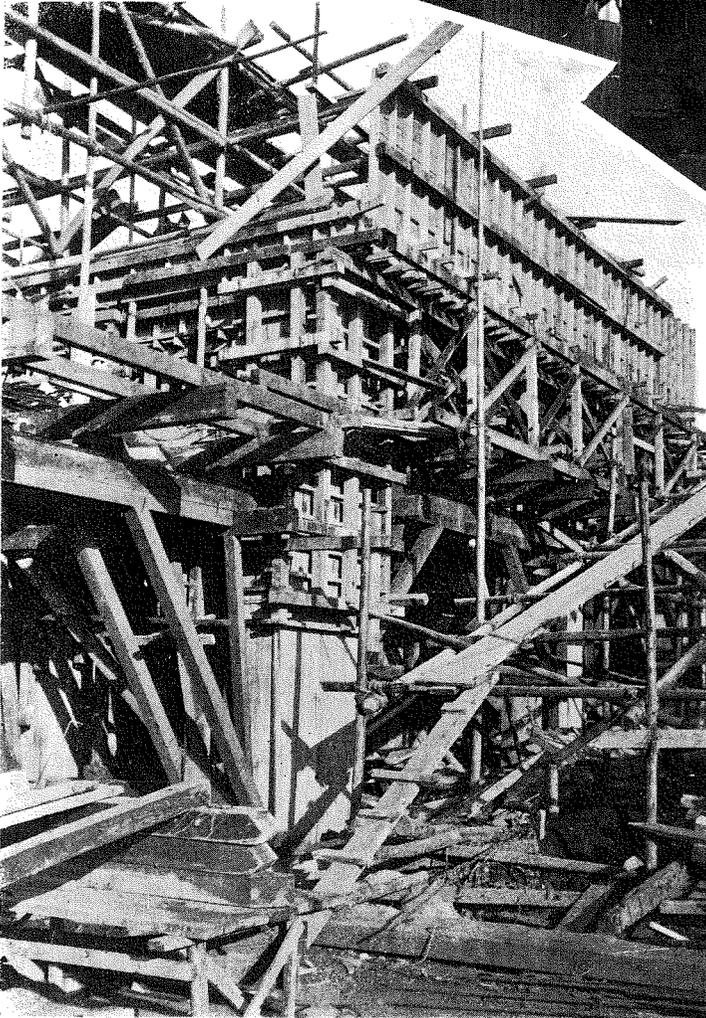
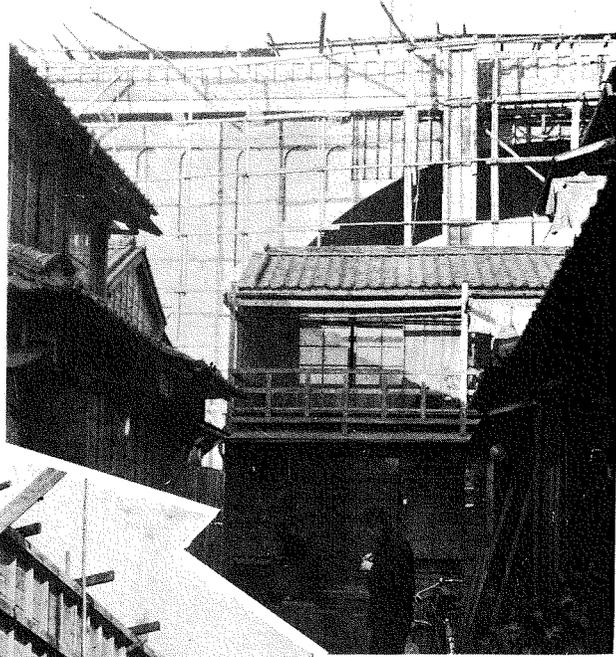
(5) 兩國線三
工區鮮島橋(架道
橋)徑間6.20米。



(6) 兩國線四工區拱環配筋狀況。

(7) 兩國線四工區拱橋基礎配筋及混凝土作業狀況。

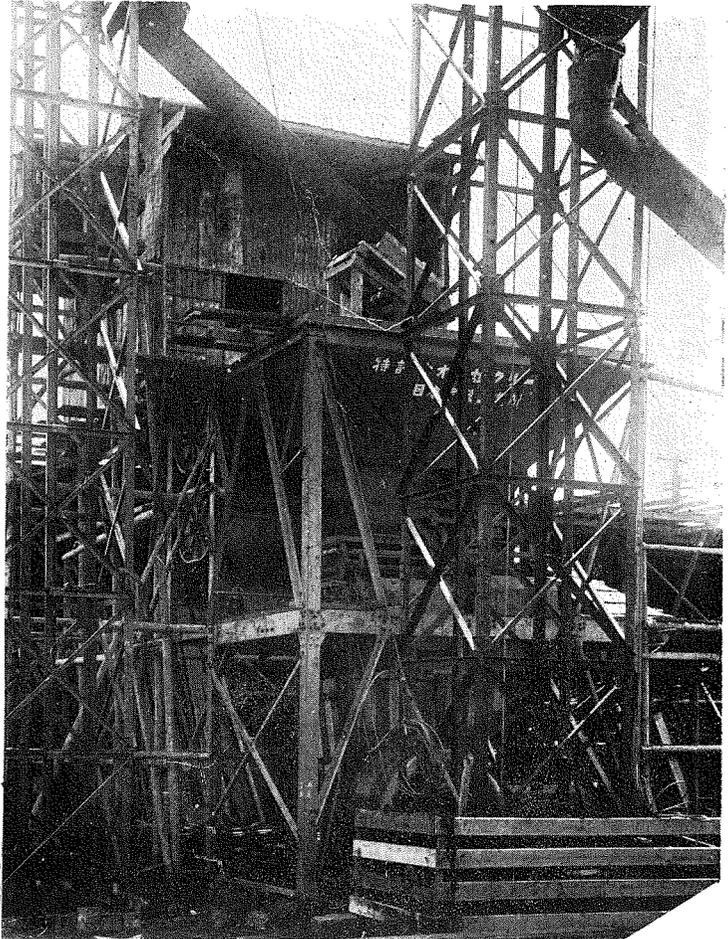
(8) 兩國線四工區拱橋側面。徑間
19.00 米、拱矢 4.00 米、地盤より軌條
面迄 14.5 米。



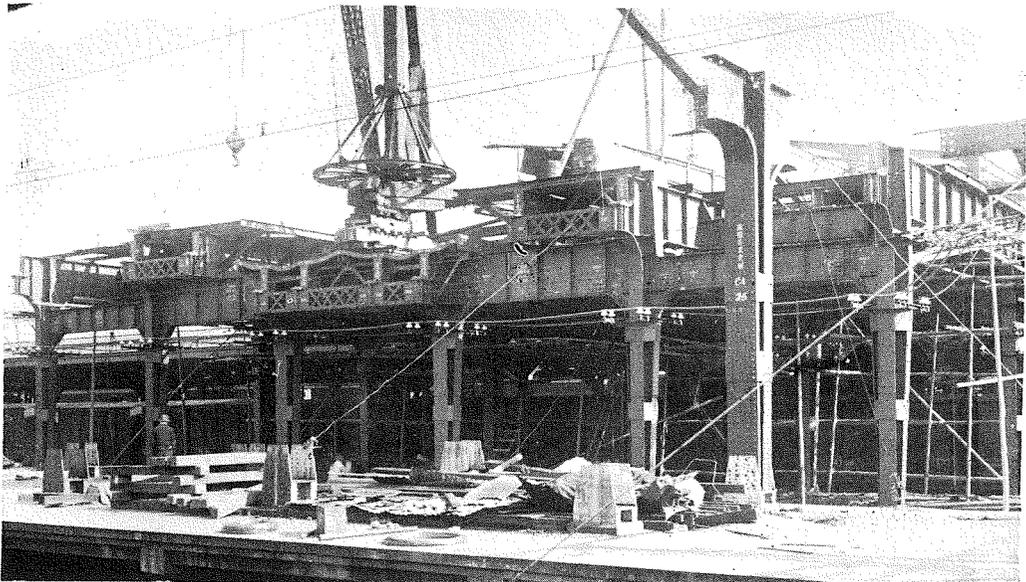
(9) 兩國線四工區 佐久
間町附近ステーヂングの一般
狀況。

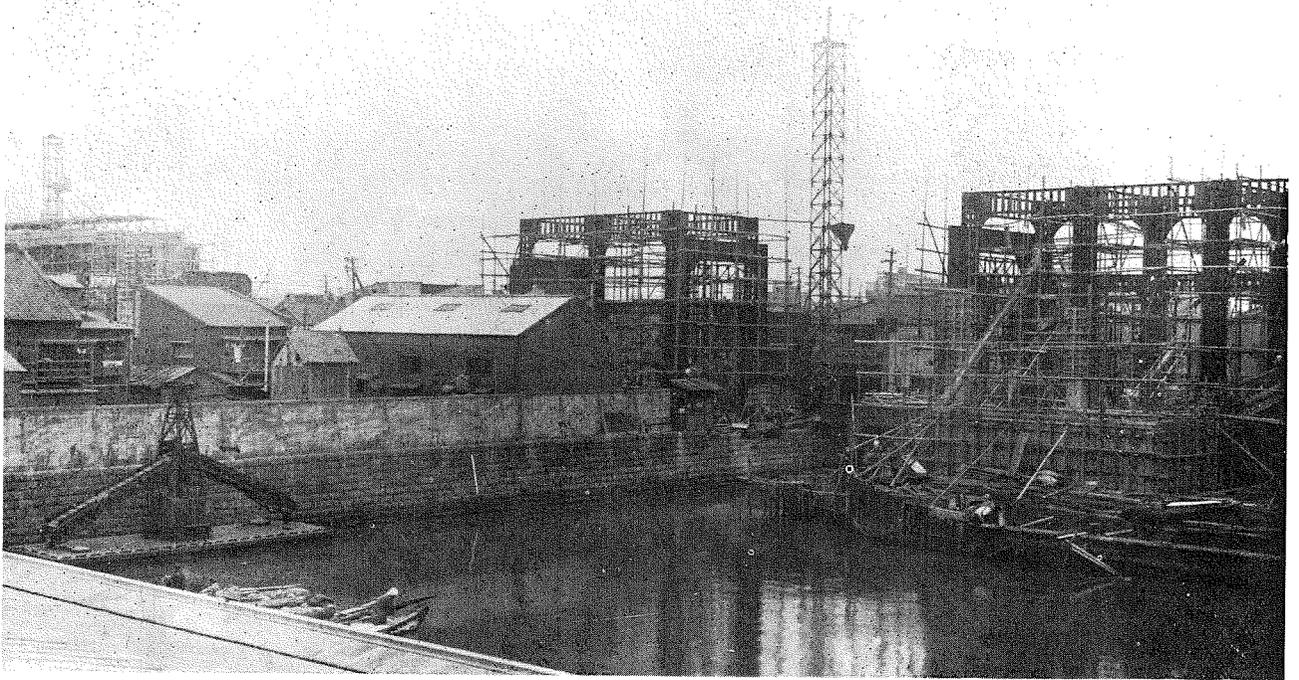
(10) 兩國線四工區に初め
て使用せられた、工事機械の
花形「ウオーセクター」

(本機に就ての詳細は工事畫
報第七卷第一號參照)



(11) 兩國線五工區 乗越
橋梁の一部、貨物通路上のラ
ーメン橋。乗越橋梁區間は延
長 131m にして現在旅客乗降
場二面、貨物積卸場二面、運
轉線16線の秋葉原貨物高架驛
構内を乗越すものである。徑
間約 11.5m 幅員 20.3m、高
15.5m。寫眞は旅客乗降場より
寫す

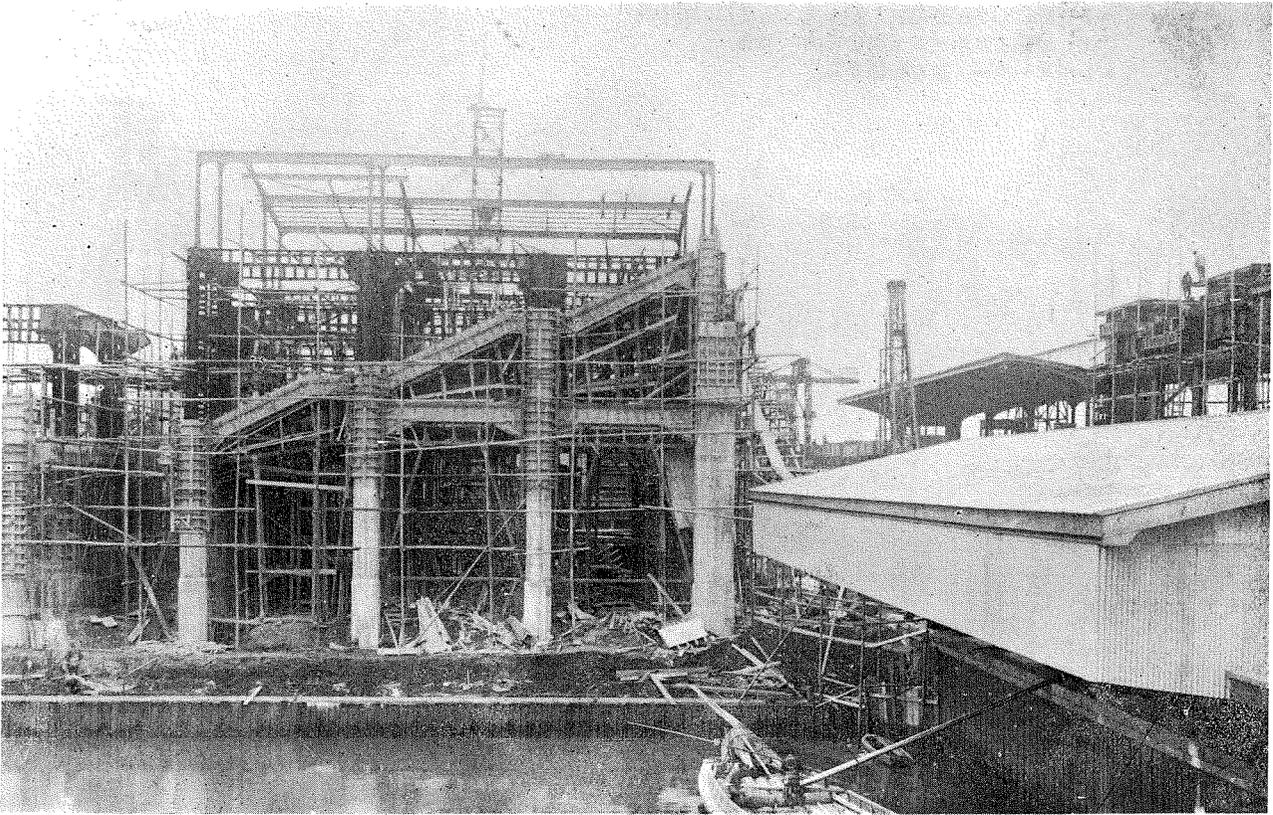




兩國線五工區工事概要

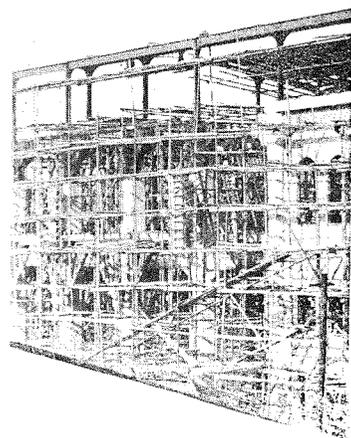
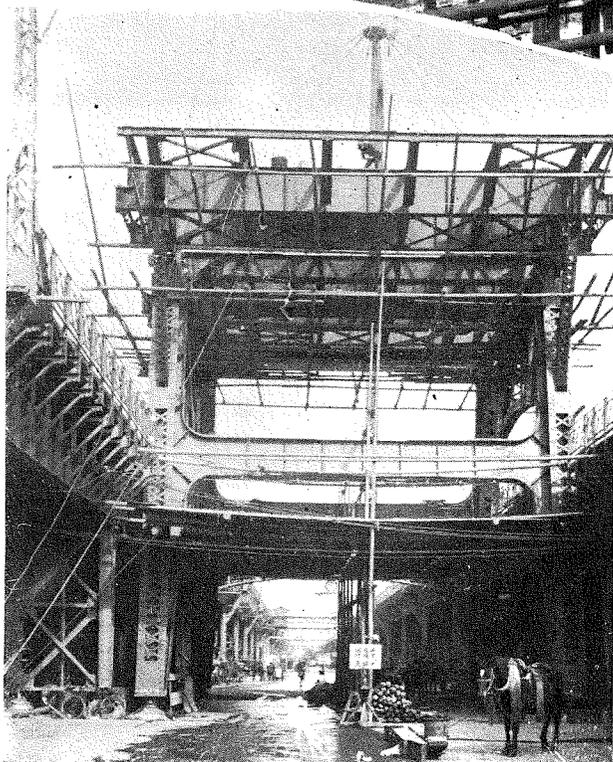
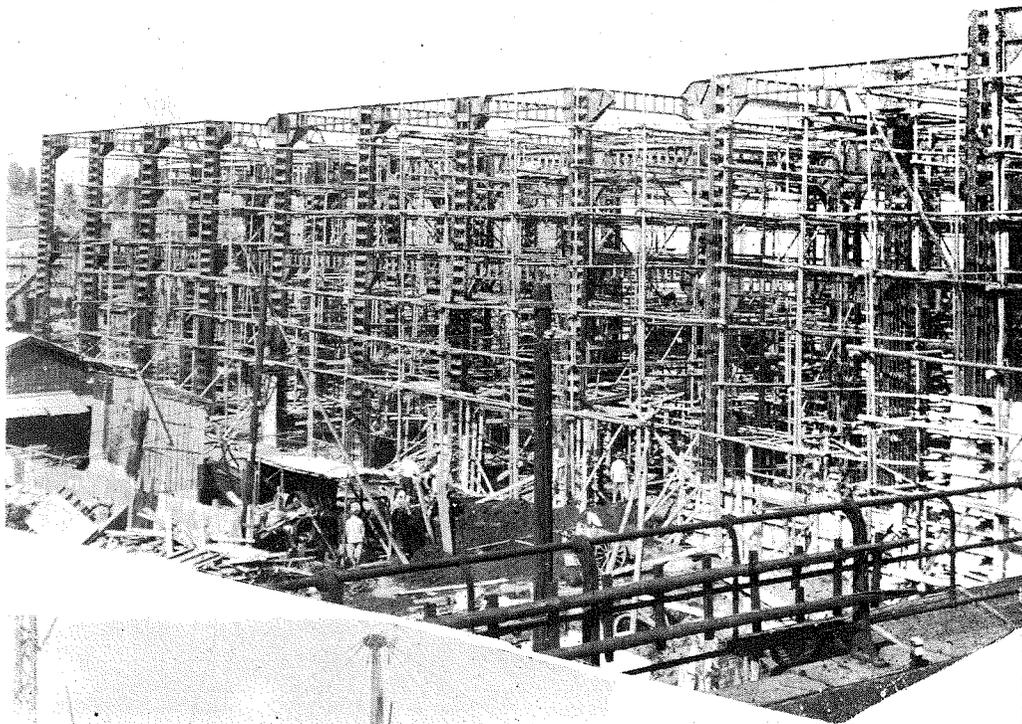
本區間は萬世橋通より昭和通まで、複線高架橋梁延長約345米、東口橋梁、乗越橋梁、西口橋梁の三區間に分れてゐる。請負は錢高組で、今回施工部分の總工費 916,000 圓、請負金は774,000圓である。

工期昭和6年7月1日起工、7年3月16日竣功の豫定である。

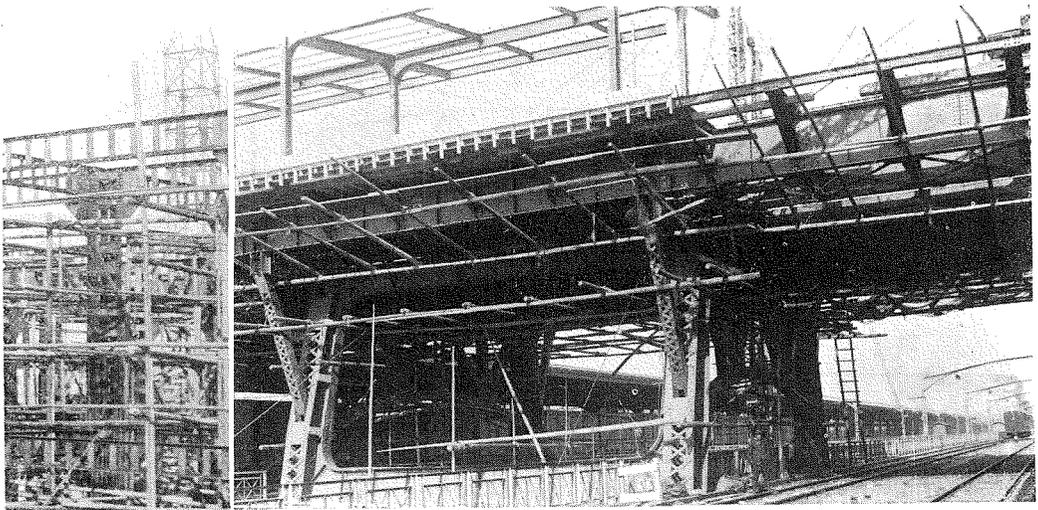


(12) 東口橋梁工事全景 延長約94.4米、鐵骨鐵筋混凝土造、寫眞は6年11月27日撮影のものにて驛裏口本屋を示す。一部勾配にして階段80段でホームに出る。尙此處には長22米、高13.2米、勾配30度、一時間能力4,000人のエスカレーター2臺が新設される。

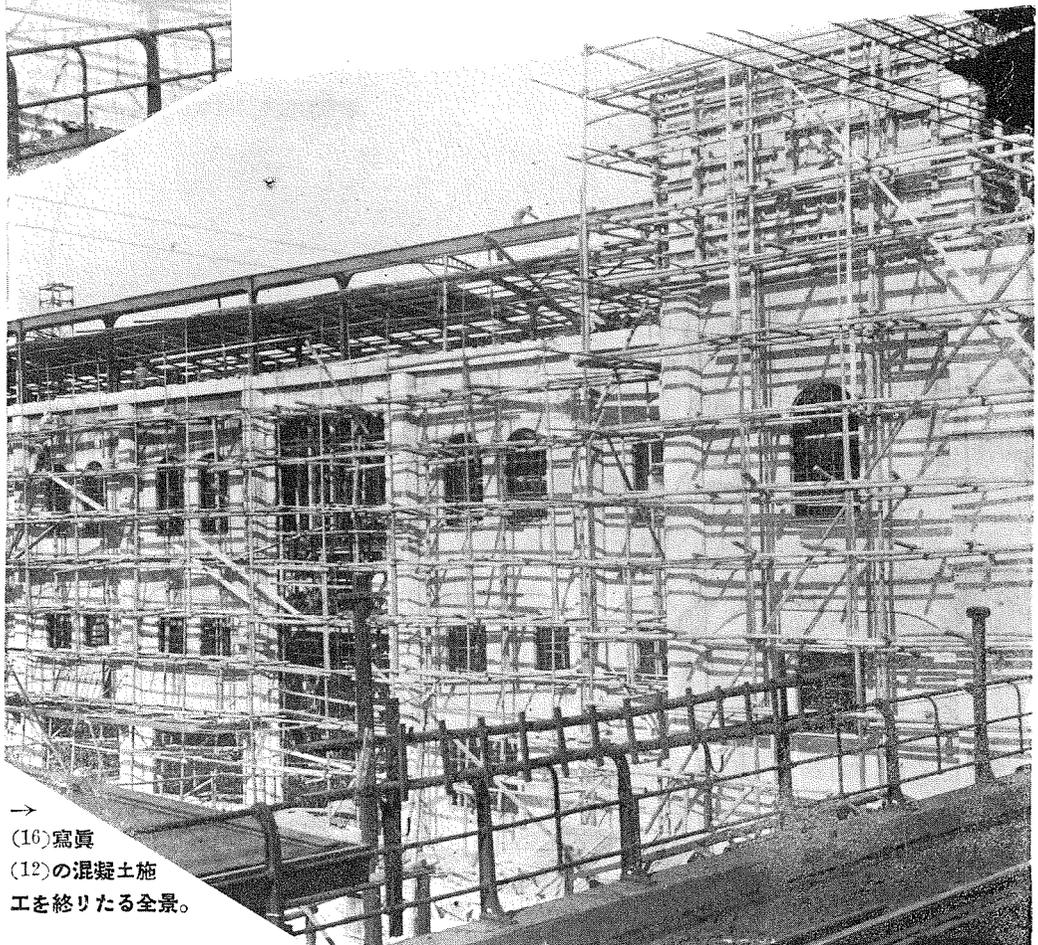
(13) 西口橋梁骨組立完成 本橋梁は秋葉原驛表口本屋となる部分にして鐵骨鐵筋 凝土造、延長119米巾約20米、地盤よりホーム上面まで約15.1米、エレベーター臺を新設する。



←(14) 乗越橋梁の一部貨物線通路上のラーメン橋。貨物自動車退路を乗越す部分にして左右の下層高架鐵橋は貨物線出發及到着本線橋梁である



↑ (15) 寫眞(13)の橋梁を下層高架線上より寫したるもの。



→
(16)寫眞
(12)の混凝土施
工を終りたる全景。